

中小企業診断士

**森田正雄**の**経営者のための資金管理入門** 全6回 シリーズ

～楽しんで儲けるために～ 第1回:「儲かったお金はどこにあるのか」

今月から始まる新シリーズは、「経営者のための資金管理入門」と題して、中小企業の経営者・幹部の皆様へ「資金管理」の考え方と分析の仕方を全6回にわたってご紹介していきます。

第一回目は、「儲かったお金はどこにあるのか」です。

●**経理部長に尋ねた稲盛社長**  
昔、京セラの稲盛社長が期末の決算報告を終えた経理部長に「儲かったお金はどこにあるのか」と尋ねたことがあるそうです。

さらに、「利益から配当しなければならぬ」というが、その金はどこにあるのか」と聞いたところ、経理部長は、「手持ち資金はないので配当する資金は銀行から借りる予定です」と答えたそうです。稲盛社長はそれが非常に不思議に思えたので、「配当するお金がなくて、銀行から借りてくるというのでは、儲かったと言えるのだろうか」と尋ねたところ、経理部長は「はい、それでも儲かったというのです」と答えたそうです。

●**黒字なのになぜお金が減るのか**  
普通の人は、黒字なら(儲かったら)お金は増え、赤字なら(損をしたら)お金は減ると思っています。ところが、実際には、黒字なのにお金が減り、赤字なのにお金が増えることがあるのです。

●**ある「りんご屋」の話**  
ある「りんご屋」の話しを題材に、読者の皆さんと一緒に利益(儲け)と資金(お金)の関係を検証してみたいと思います。

『あなたは、現金1万円を元手朝、りんごを1個50円で200個、現金で仕入れました。りんごを1個100円で150個売りました。130個は現金で、残り20個は掛けで売りました。当日のアルバイト代として6千円を現金で支払いました。夕方、売れ残ったりんごを数えと50個でした。』

①利益はいくらですか?  
②お金はいくら残っていますか?  
●**利益計算と収支計算の違い**  
会計上の利益を計算することを、利益計算といい、利益Ⅱ売上(収益)ー経費(費用)となります。また、収入合計から支出合計を差し引いてお金がいくら残っているのかを計算することを収支計算といいます。

●**「りんご屋」の利益計算**  
りんご屋の利益計算を一覧すると次の表の通りです。  
営業利益は1500円なので、この「りんご屋」は1500円儲かったこととなります。

売上高(収益)	15,000円
売上原価(費用)	7,500円
粗利益	7,500円
人件費(費用)	6,000円
営業利益	1,500円
利益の増加額	+1,500円

●**「りんご屋」の収支計算**  
りんご屋の収支計算を一覧すると次の表の通りです。  
手元に残った現金は7000円なので、元手の現金1万円が3000円減ったこととなります。

【収入の部】	
資本金元入	10,000円
売上収入	13,000円
収入合計	23,000円
【支出の部】	
商品仕入	10,000円
人件費支払	6,000円
支出合計	16,000円
現金残高	7,000円
資金の減少額	▲3,000円

●**差額4500円はどこに行った**  
利益が1500円だったので、お金が15000円増えて1万1500円になっているはずなのに、7000円しか残っていません。両者の差額4500円はどこに行ったのでしょうか。  
実は、お金が在庫に姿を変えたものが2500円、お金が売掛金に姿を変えたものが2000円、合計4500円になるのです。

●**利益と資金の関係**  
会社を人間の体に例えると、収益(利益)は神経で、収支(資金)は血液です。収益(利益)とは、会社が儲かっているかどうかという情報であり、収支(資金)はお金という実体そのものなのです。血液(資金)が止まった時、会社は倒産(死)を迎えるのです。

●**収益を見る眼と収支を見る眼**  
売上・利益には関心があるが、売掛金や在庫が増えることに無頓着な経営者・管理者が多いのです。実は、収益を見る眼は部分を見る眼であり、収支を見る眼が全体を見る眼なのです。

ある経営者が言いました。『企業経営では、「損益」は野球のよなものだ。表で1点取られれば、その裏で1点以上取れば良い。一定期間の合計として取られる以上に取り戻すことで、この間の経過はあまり問題ではない。ところが「収支(資金繰り)」は毎日が勝負だ。一本勝負のレスリングだ。失敗したらおしまいなのだ』と。

●**参考文献**  
『稲盛和夫の実学(経営と会計)』稲盛和夫著(日本経済新聞社) 1998年11月第1刷  
『伸びる会社の上手な資金管理のしくみ』横田真著(日本能率協会) 1989年9月初版第1刷

森田経営研究所

〒790-0052 松山市竹原町1丁目2-8-802  
TEL :089-993-8978 FAX :089-993-8978

E-mail: mmorita@moritakeiei.com  
http://www.moritakeiei.com

